

新議会の体制決まる

議員の改選後初議会となる平成26年第1回奥州市議会臨時会を、3月25日・26日の2日間開催しました。

この議会には議員28人が出席し、議長及び副議長の選挙、常任委員会委員と議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙などを行ないました。（臨時会の詳細はP18に掲載）

<議員の任期は平成26年3月19日から平成30年3月18日>



議長に佐藤修孝議員

副議長に小野寺重議員

3月25日の本会議において議長及び副議長の選挙を行いました。

投票の結果、議長に佐藤修孝議員（江刺区）、副議長に小野寺重議員（前沢区）がそれぞれ当選しました。

【選挙結果】

（議長選挙）

佐藤 修孝	議員	23票
千田美津子	議員	5票

（副議長選挙）

小野寺 重	議員	22票
今野 裕文	議員	6票

議長就任あいさつ

奥州市議会議長

佐藤 修孝



この度、改選後の初議会において、市議会議長に選任いただきました。身に余る光栄と思っております。そして同時に責任の重さを痛感致しております。

議員定数を6人減らした事により、議員活動の範囲もその分広範になると思われまふ。その経過の中で、市民の一体感の醸成に繋がる事を期待するものであります。

向う4年間で議会として大きく関わる事は一つには医療体制の方向性についてであります。全国的にはお医者さんが増えている状況なのに都市部に偏在化し、地方にはなかなか足を向けて

もらえません。大事な事は、お医者さんが「ここで働きたい」という職場環境を作る事です。そのためには県や関係機関との連携を密にして、胆江広域圏での不足診療科をなくし、重病でも圏内で完結できる医療体制を構築する必要があります。感じております。

二つ目はI L Cの誘致であります。

交付税の合併特例措置の33億円も間もなく切れ、交付税の漸減、人口減による税収減と、厳しい財政状況見通しの中、I L Cの本格決定を見据え、バランスの良い予算執行を提案し、同時に最良の形でI L Cに関わり、市として広範に渡ってI L C効果を導き出せるシナリオを書く必要を感じております。

市民の皆様の声に耳を傾けながら、この地域に住む誇りを持続可能にする社会形成をめざして参ります。議員各位の英知を結集し市民の暮らし向きが良くなるよう努力する所存であります。